第3期子ども・子育て支援事業計画（案）における修正箇所について
（1月30日修正分）

P2 ⑤こども誰でも通園制度 表記変更

修正前： こども誰でも通園制度の推進

修正後： 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の推進

P38 （3）変化する保育ニーズへの対応

[こども誰でも通園制度 表記変更]

修正前：このような子育て家庭における働き方や需要増に対応する一方で、全国的な傾向である就学前児童数の減少による影響を留意し、新たに「こども誰でも通園制度」が実施されることから、変化する情勢に対応した待機児童対策を実施する必要があります。

修正後：このような子育て家庭における働き方や需要増に対応する一方で、全国的な傾向である就学前児童数の減少による影響を留意し、新たに「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」が実施されることから、変化する情勢に対応した待機児童対策を実施する必要があります。

P39、P42、P54 基本目標3（4）こども誰でも通園制度 表記変更

修正前： こども誰でも通園制度の推進

修正後： 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の推進

P58～59 （5）第三の居場所づくりの提供 記載内容を修正

修正前：それ以外にも、こどもの居場所設置・運営パイロット事業として、様々な理由により学校になじめない子どもたちを対象に、こどものニーズにあった適切な支援を行う公設民営型フリースペース（子ども第三の居場所）「あかしフリースペース・トロッコ（以下トロッコ）」を2021年（令和3年）9月に開設しました。

トロッコでは、市内在住の6～18歳の子どもを対象に、子どもたちが安心できる空間で遊びや学習支援を行うほか、子どもや保護者に対する相談支援を行っています。また、トロッコ開設から3年が過ぎ、入所待機者が年々増加している現状を踏まえ、市内2か所目となる公設民営型の「こどもの居場所」を設置いたします。

今後においても、子どもたちの置かれている状況に応じて、何が必要となるのか、こどもの意見を聴きながら必要な支援を検討していきます。

これらの支援を中心に、今後も支援が必要な子どもや保護者が、適切な支援を受けられるよう、支援体制の整備を進めていきます。

修正後：それ以外にも、こどもの居場所設置・運営パイロット事業として、様々な理由により学校になじめない子どもたちを対象に、こどものニーズにあった適切な支援を行う公設民営型フリースペース（こども第三の居場所）として、2021年（令和3年）9月に、「あかしフリースペース☆トロッコ（以下、東部施設）」を開設しました。開設から3年が過ぎ、入所待機者が年々増加している現状を踏まえ、2025年（令和7年）1月には、市内2か所目となる「あかしフリースペース ここのぼ（以下、西部施設）」を開設しました。

東部、西部施設ともに、市内在住の6～18歳の子どもを対象に、子どもたちが安心できる空間で遊びや学習支援を行うほか、子どもや保護者に対する相談支援を行っています。

東部施設では、子どもたちが安全に集まることができる程度の広さを有し、家庭的な雰囲気子どもたちがホッとできる場をコンセプトとし、西部施設では、音楽・学習・イベントなど多様な活動や取り組みができる居場所をコンセプトとしています。

加えて、西部施設においては、子ども・若者が気軽に立ち寄れるフリーコーナーを設けるとともに、2024年（令和7年）4月から、こども若者交流施設「あかしユースポート」を開設し、子ども・若者が自由に交流したり、音楽・学習・イベントなど、多様な活動ができるユーススペースを目指していきます。

今後においても、子どもたちの置かれている状況に応じて、何が必要となるのか、こどもの意見を聴きながら必要な支援を検討していきます。

これらの支援を中心に、今後も支援が必要な子どもや保護者が、適切な支援を受けられるよう、支援体制の整備を進めていきます。

P64 3 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の提供区域の設定について

(1) ② 地域子ども・子育て支援事業 一覧表への追記

[乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）及び産後ケア事業を一覧表に追記]

修正前：未表記

修正後：乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） ☆

産後ケア事業 ☆

P103 (7) こども誰でも通園制度 表記変更

修正前：こども誰でも通園制度

修正後：乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）